



認定看護師出張講座 はじめます。

皆様からのご相談お待ちしております。

認定看護師とは、日本看護協会にて認定される資格であり、特定の分野において十分な経験を積み、専門的な教育を受けた看護のエキスパートのことです。

職種を問わず、皆様からのご相談をお待ちしております。是非ご利用下さい。

認定分野	研修・講義内容
<脳卒中リハビリテーション>	
宮澤知佳	脳卒中リハビリテーション看護では、脳梗塞や脳出血によって脳の血管が障害された患者さんに様々な角度からリハビリをお手伝いする分野です。 具体的には、早期回復のための【早期離床のアプローチ】、【失語症状（言葉の障害）の関わり方】や【嚥下障害（飲み込みの障害）のリハビリ】、また脳卒中では再発も多く再発で重症化してしまうケースも少なくはありません。 再発予防の指導にもできることが沢山あります！ こんなときどう関わったら良いのだろうか？何が出来るだろうか？と普段疑問に思うことが多々あると思いますので、私自身もまだまだ未熟ではありますが些細な事でも良いので一緒に解決できるように相談頂ければ幸いです！！
<救急看護>	
渡邊晶子	救急看護分野では、救急看護に関することの他に災害看護についての教育のお手伝いもしています。 もしもの時に慌てないための「救急患者さんへの初期対応のコツとイロハ」について、BLS（一次救命処置）・気管挿管介助といったシミュレーション研修など「看護師として救急の現場で何をすればいいか？」が分かり実践出来るようになるお手伝いができればと思っています。「BLS 研修をやりたいけど AED が無い」など何でもお気軽にご相談ください。 そのほか、待合室で診察を待っている患者さんの中から看護師が急いで検査・処置が必要な患者さんを見つけ出し早期治療につなげる「院内トリアージ」、患者さんの急変予兆サインに気づいて早期対処することで心肺停止を防ぐ「急変予測」、「救急領域の家族看護」「災害看護」などに関する研修プログラムもご用意しています。 仙南地域の救急患者さんが安心して検査・治療を受けられるように、そして一人でも多くの救急患者さんが社会復帰を果たせるよう、皆さんと救急看護を盛り上げていきたいと思っています。勉強会のご依頼はもちろんその他お困りのこと等あれば、お気軽にお声がけいただければ幸いです。

<感染管理>

阿部 則子

「感染管理」というと何を管理しているのと疑問になりませんか？感染性病原体つまり、私たち人間を昔から苦しめてきた細菌やウイルスがどこに潜んでいるのか、また次々に人から人へ広がっていないかについて管理しています。

感染防止は、きちんと行えば莫大な有益となります。例に挙げますと、抗菌薬のバイアルは 1 本約 2000 円です。手袋とビニールエプロンは 1 回約 30 円です。抗菌薬を 1 日 2 回 7 日間使用すると約 28,000 円になります。手袋とビニールエプロンを 1 日 7 回 7 日間使用しても、約 1,470 円です。手袋とビニールエプロンを使用し、防止できる感染症はたくさんあります。

また、速乾性手指消毒薬（アルコール手指消毒薬）を使用し、手指衛生に注意すると耐性菌（特に MRSA）の検出が減ることは、多くの論文に出ています。しかし、速乾性手指消毒薬だけでなく、石けんと流水による物理的な手洗いも必要な場合があります。例えば、便中にあるクロストリジウム・ディフィシル菌は、芽胞を持っているため石けんと流水での手洗いが必要です。ノロウイルスは、アルコールが効きませんので、石けんと流水での手洗いが必要となります。上記のような、ちょっとしたポイントを押さえながら、楽しく感染防止を学んでみませんか？

<がん化学療法看護>

武田さち子

高梨 智恵

化学療法は新薬の登場など、治療法の進歩が著しい分野です。

・「新しい薬を投与するけどどんなことに注意したらいいの？」「患者さんへの説明は？」など、治療に関すること。

・「つらい副作用を何とかしてあげたい」「副作用とケアについて勉強したい」など副作用に関すること。

・「落ち込んでいる患者さんとの関わり方」「治療をするかどうか迷っている患者さんとの関わり方」「家族のケア」など精神的なケアに関すること。

・その他、抗がん剤から自分の身を守るために必要な暴露対策や、抗がん剤の皮下漏出対策、過敏症発生時の対応などのリスク管理に関すること。

がん化学療法やその看護に関することなら、些細なことでもかまわないのでご相談ください。がん化学療法を安全・確実に行い、そして患者さんが安楽に治療を受けられるようにお手伝いします。

「こんなことについて困っている」「こんな事を知りたい」と気軽にご連絡ください！

<緩和ケア>

菊地浩子

高野祐紀

「緩和ケア」と聞くと、みなさんはどのようなイメージを抱きますか？緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他辛い症状、辛いお気持ちや生活上の問題などに対し、早期から適切に介入することによって、患者さんとその家族がこれから行われる治療を安心して受けられるようにケアすることです。

「痛いって言われたけどどうすれば良いの？」「悩みを打ち明けられてどのように答えたら良いの？」など痛みやその他辛い症状に対すること、実際の関わり方など様々な疑問があれば是非お気軽にご相談ください。

また、亡くなった患者さんの振り返りを行ってみたい、口腔ケアやエンゼルケアってどうすれば良いかなど勉強会を通して解決できるようお手伝いさせていただきたいと考えております。各病院や施設のみなさんと一緒に学びを深めていきたいと考えておりますので、お気軽にご連絡いただきたいと思います。

<皮膚・排泄ケア>

横澤真姫子

皮膚・排泄ケアでは、身近なスキンケアや排尿・排便のトラブル、創傷ケアなど幅広く、関わる機会の多い分野です。

庄司沙織

普段行っているスキンケアや排泄ケアで疑問に思うことやケアを行う際のコツなどケアに関する事。褥瘡やストーマ、女性の骨盤臓器脱など局所のアセスメントをどうすればよいかなど看護や治療に関する事。治療に伴う意志決定や精神的ケアに関する事。創傷被覆材やケア用品に関する事。社会的サポートについて。など患者さんが安心、安全に生活できるようお手伝いしていきます。

佐藤静恵

各病院・医院や施設でお困りのことや知りたいことなどありましたら、お気軽にご連絡ください。